



日本海の荒波を体験

こどもまり冬物語ツアー

1月28、29日の2日間「第3回こどもまり冬物語ツアー」が行われました。

小泊の冬季観光の活性化を目的に行われているこのイベントには、今年も東京都や函館市、県内各地から43人が参加しました。

28日午後、すすくこどもまり館に到着した一行はスタッフの歓迎を受けた後、芸術的に凍りついた七ツ滝や青岩海岸を散策して冬の荒波を間近で体験しました。



乾杯で交流会スタート

夜は日本海漁火センターでの交流会。川山光則観光協会会長が開会の挨拶、小野町長が歓迎の挨拶をした後、葛西徳男うみどりーむ振興公社理事長の乾杯で交流会が始まりました。

料理は地元食材をふんだんに使った、イカ・マグロ・タイの刺身やモズク、タラのじゃっぱ汁、若生おにぎりなど郷土料理20品目以上が並び参加者は大満足でした。さらにタコやマグロの解体ショーなど、ほとんどの料理が参加者の前で調理され、参加者は舌だけでなく目でも料理を楽しみました。

タコの解体ショーでは子ども達も恐る恐る大ダコの足に手を触れたりしていました。



タコの解体ショー

また舞台の上では、小泊婦人会の小泊音頭や権現漁火会のよさこいソーラン、スタッフやツアー客も参加してのカラオケ大会と大盛り上がりでした。

翌29日は、ライオン海道や徐福の里公園、小説「津軽」の像記念館などの施設を見学しました。その後、すすくこどもまり館の玄関前で熱燗を片手にタコやスルメなどをあぶって海の珍味を堪能しつつ、耐寒体験をしました。

2日間のツアーを通して、参加者は、小泊の冬景色と美味しい料理を満喫し、盛況のうちにこどもまり冬物語ツアーは終了しました。



マグロの解体ショーに注目



タコの足にタッチ



みんなで踊った小泊音頭



出来たての料理にはしが進みます



徐福の里見学



熱爛にスルメは最高



豪快にタコを釜茹で



スルメ美味しいネ